

さらなるごみ減量・資源化の促進にむけて

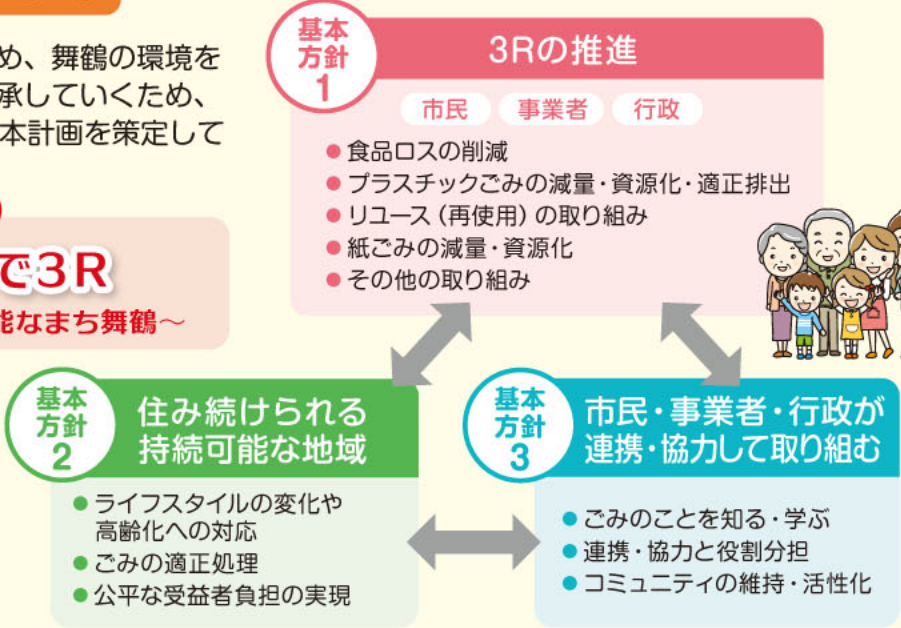
ごみ処理基本計画について

ごみの減量や資源化をさらに進め、舞鶴の環境をより良いかたちで次の世代に継承していくため、舞鶴市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画を策定しています。

基本理念

地域みんなで3R

～誰もが住みやすい持続可能なまち舞鶴～



まだまだできるごみ減量の取り組み

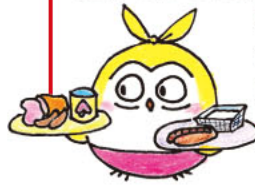
食品ロスの削減

食品ロスとは、「本来食べられるにも関わらず捨てられてしまう食べ物」のことを言います。



可燃ごみに含まれていた食品ロス（令和4年度調査より）

家庭から排出された可燃ごみのなかには、使わなかった野菜などの食材や加工食品など、まだ食べられるものがこんなに沢山捨てられているよ。



買い物前の確認で 買いすぎ防止



買い物前に冷蔵庫の中身を確認。必要な分だけ買おう。

2つの“期限”を正しく理解しよう

消費期限

安心して食べることができる期限
→期限を過ぎたら
食べないほうがいい

賞味期限

美味しく食べられる期限
→期限を過ぎても
すぐ食べられなくなるわけではない

まだ食べられるものを捨てていませんか？
期限を正しく理解し、買ったものは使い切ろう。

3キリ（食べきり、使い切り、水切り）をしよう

食べきり



食べきれぬ量を作りましょう

使い切り



食材は使い切りましょう

生ごみはできるだけ
ぬらす、捨てる前に
しっかり水切りしましょう

水切り



紙類の分別推進

混ぜればごみ、分ければ資源

紙ごみ



資源となるものはしっかり分別して、ごみ減量となるリサイクルに取り組みよう。



ごみブックレットのアドバイス

紙袋や紙封筒を利用して紙ごみをリサイクル



ごみ箱の横に紙袋を置いておけば、ひもでくくって資源ごみとしてそのまま出せるので、詰め替える手間いらず！



郵便物が届いた時の紙封筒は取っておくと、小さな紙ごみをまとめるのに便利です。